



国立国際医療研究センター病院

病院市民公開講座

気管支喘息の 新しい治療法

—気管支サーマンプラスティー—



長く続く咳に悩まされたり、呼吸が苦しくなったりするのが気管支喘息（ぜんそく）の特徴です。子どもに発症しやすい病気ですが、近年では成人、特に40～50代での発症も増加しています。

最近、内視鏡を使って空気の流れを改善する方法が医療保険適用となりました。

今回は、アレルギー・気管支喘息を専門とし、ベストドクターにも選ばれている呼吸器学会専門医が詳しく解説します。

10月20日

16:00～17:00

講師 **杉山 温人**
(呼吸器内科診療科長)



会 場：国立国際医療研究センター
1階 集団指導室（タリーズ横）

入場料：無料

今後の予定：11/14(糖尿病)12/16(がん相談支援センター)※変更する可能性があります。

問い合わせ先：病院広報係 (03-3202-7181 内線2028)